

(ふるさと教育) 学習指導 (活動) 案

【実践者】

氏名 山本 有紗

学校名 厚真町立厚南中学校

学年 (人数) 1 学年 (16 人)

実施教科 (領域) 総合社会 (ふるさと教育)

【関連する SDGs】 (8・11・17)



【実施概要】

1. 単元名 (活動名) : 災害につよいまちづくり
2. 単元の目標 (評価規準を意識して設定) : <ul style="list-style-type: none"> ・災害につよいまちへの理解を深める。 ・災害につよいまちづくりをする上で目指したいまちや人々の姿を具体的に考え、発信する。

3. 単元計画 (全2時間)			
時	ねらい	学習活動	資料など
1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・災害につよいまちへの理解を深める。 ・厚真というまちや人のどんな姿が「災害につよいまちづくり」につながるのか考え、発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害につよいまちについて意見交流を行う ・災害時を想定し、「状況カード」の立場になってロールプレイを行う ・胆振東部地震の際の厚真町の人々の実際の活動を知る ・目指したいまちや人の姿を考え、行動化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント ・ワークシート ・カード ・活動する人々の資料

4. 本時の展開 (1・2 / 2)			
本時のねらい : <ul style="list-style-type: none"> ・災害につよいまちへの理解を深める。 ・厚真というまちや人のどんな姿が「災害につよいまちづくり」につながるのか考え、行動化する。 			
過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (10分)	1. 厚真町×SDGs について思いつくことを交流する (3分) 「厚真と聞いて思い浮かべることは何ですか？」 <ul style="list-style-type: none"> ・自然、ハスカップ、田舎、サーフィン… 「では、厚真と SDGs を関連させます。何か知っている取り組みなどはありますか？」 ・地域おこし協力隊、教育に手厚い… 「先生の周りでは、厚真と聞くと地震のあったところと答える人が多くいます。」 2. 災害とまちのあり方について考える (7分)		<ul style="list-style-type: none"> ・PPTで進めていく ・ワークシート

	<p>「災害につよいまちとは、どんなまちだと思いますか？厚真は災害につよいまちだと思いますか？」</p> <p>○個人思考→グループ交流→全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練をしっかりとしているまち ・避難所になる広い場所があるまち ・柔軟に動ける人が多いまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的な面ではなく、災害が起こった後のまちや人の状況に目を向けるように促す 	
展開① (30分)	<p>3. 様々な立場で震災が起こったことを想定してロールプレイを行う (15分)</p> <p>①ルールを説明する (3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一枚カードを引き、その状況にあった立場を演じる (セリフは自分で考える) ・カードを見せてはいけない ・教室全体が地震後の町だと想定して行う <p>【カード例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電波が悪くスマホが使えない ・家が停電している ・大きな車をもっている ・スマホの電波も充電もバッチリある <p style="text-align: right;">など16種類</p> <p>②時間を計って実際に活動を行う (5分)</p> <p>③どんな状況ややりとりがあったのかを交流する (4分)</p> <p>④感想を発表する (3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が困っていることをしっかり伝えることで力になってくれる人がいた ・自分の状況でできることを考えた <p>4. 胆振東部地震に関わって、実際の事例を紹介する (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハッピースターランド 斉藤さん ・ペットホテル HAYA 早川さん ・避難所での活動 ・冒険の杜整備事業 (地震後の活動) <p>5. SDGs と結びつける (5分)</p> <p>「それぞれの取り組みに関わっているSDGsは、何番だろう？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11番、8番、17番 		<ul style="list-style-type: none"> ・カード
展開② (50分)	<p>6. 災害とまちのあり方について、改めて考える (5分)</p> <p>「災害につよいまちとは、どんなまちだと思いますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助け合えるまち ・人と人とのつながりが多いまち ・自分の状況を発信できる人が多いまち ・自分のことだけではなく、周りの人のこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の写真と本人からのコメントを紹介する ・紹介した人々の行動から考えさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・PPT ・本人の写真とコメント ・ワークシート

<p>まとめ (5分)</p>	<p>も考えられる人が多いまち ・災害があっても生き活きとその後の生活を送っている人が多いまち</p> <p>7. 自分たちの生活と結びつける (5分) 「もし今、何か起こったら自分にできることは何でしょうか? 近所に住んでいる人の顔や名前は知っていますか? 自分が困ったら手助けをしてくれそうな地域の人の顔は思い浮かびますか?」 ・あまり交流がないから分からない ・近所の人とよく焼き肉をするから知っている ・隣の一人暮らしのおじいちゃんを助ける</p> <p>8. 災害につよいまちづくりに向けて、自分にできる形でメッセージを発信する (45分) 「災害につよいまちづくりに向けて、自分たちにできることは何だろう?」 ・ポスター作成 ・標語作成 ・手紙 ・ビデオレター</p> <p>9. 斉藤さんの言葉を紹介する (2分) ・災害につよいまちづくりに取り組む人の思いを深く知る</p> <p>10. 感想を書く (3分)</p>	<p>・誰に向けて、どんなメッセージを発信したらよいのか考えさせる</p>	<p>・ワークシート</p>
<p>5.評価規準に基づく本時の評価 (評価方法) ・災害につよいまちへの理解を深めている。(観察/ワークシート) ・災害につよいまちづくりをする上で目指したいまちや人々の姿を具体的に考え、発信する。(観察/作成物)</p> <p>【備考】 ・メッセージ等は授業時間内で完成しなければ、後日学活の時間を用いて作成する。また、完成したものを実際に地域の交流センターなどに掲示する。</p>			
<p>6.資料および外部との連携</p> <p>【協力】 ・厚真町教育委員会 (社会教育グループ) 主任/社会教育主事 斉藤 烈さん ・厚真町ペットホテル HAYA 早川 律子さん ・東北大学災害科学国際研究所 定池 祐季さん</p>			

【自己評価】

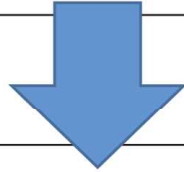
<p>苦勞した点</p>	<p>・地震という生徒にとってネガティブな話題を扱うことになったが、最終的に「明るい未来」を想像できるような教材にすることを心がけた。その終末をどのようにもっていくか、方向性を考える点が苦勞した。</p>
<p>改善点</p>	<p>・ロールプレイ活動の意義を生徒にしっかりと伝え、より実際の場面を想定したものにできたらよかった。また、その活動をうまく次の思考に結びつけることができるようになった。</p>
<p>成果が出た点</p>	<p>・事前に SDGs についての授業を行ったことで、生徒たちがそれぞれの取り組みと SDGs を関連づけることができた。</p>
<p>学びの軌跡 (児童生徒の反応・感想文・作文・ノート等)</p>	<p>・自分たちにできることを考えて形にする場面では、多くの生徒たちが悩みながらもそれぞれの考えの下、行動化に繋げることができた。「日頃からコミュニケーションを」と呼びかけるポスターを作成した生徒や地震の際にお世話になった自衛隊に向けて手紙を書いた生徒、普段はあまり交流のない近所の方に向けて手紙を書いた生徒もいた。</p>
<p>授業者による自由記述</p>	<p>・今回、自分自身も厚真町について学び、様々な方と繋がりをつくることができたという点で、非常に得るものが多い授業実践となった。SDGs についても、それ以外のことについても、自分自身がアンテナを高く張ることで色んなものを教材に取り込むことができるのだと気づかされた。</p>
<p>学校内外でSDGs学習・授業実践を広める取り組み</p>	<p>・厚真町の「防災教育」を本格的に行っていく上で、今回の実践も踏まえ、何か SDGs と絡めた取り組みができるように提案していきたい。</p>

厚真×SDGs



名前 _____

★「災害につよいまち」ってどんなまち？



★それぞれの活動と結びつくSDGsは？

【斉藤さん】

【早川さん】

【冒険の杜整備事業】

★自分にできることは？

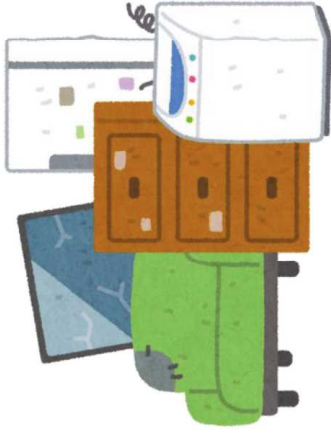
【伝えたいこと】

【誰に向けて】

【どうやって】

★授業の感想

家の片付けで粗大ゴミが出た。



二人暮らしの木田さん

犬を飼っているが、避難所には連れていくことができない。



高齢の木村さん

電波が悪く、スマホが使えない。



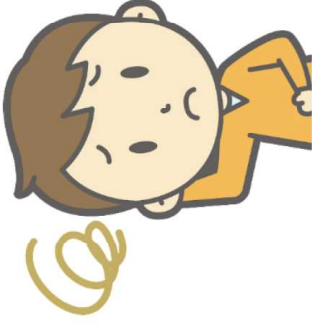
一人暮らしの山本さん

水が出ないので家のお風呂が使えない。



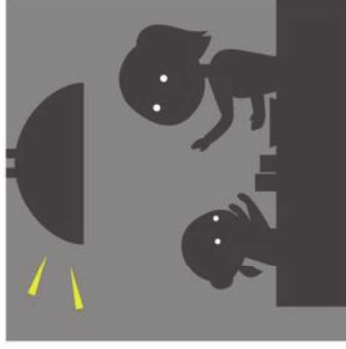
大家族の佐々木さん

遊ぶ場所がない。



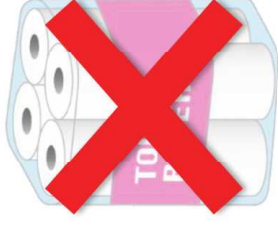
小学生の奥野くん

家が停電している。



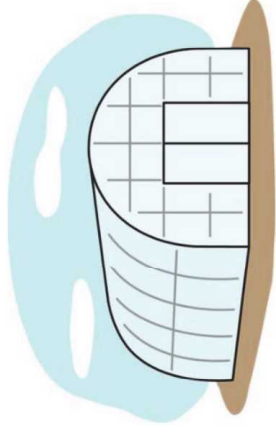
小さい子どもがいる大塚さん

トイレットペーパーやティッシュなどの紙類が買えない。



4人家族の吉田さん

農業用ハウスが潰れてしまった。



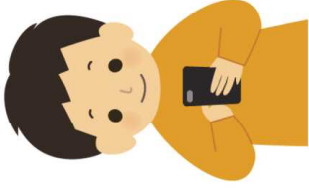
いちご農家の藤原さん

大きな車を持っている。



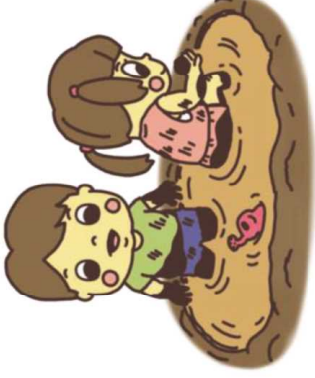
じゃがいも農家の山田さん

スマホの電波も充電もバッチリある。



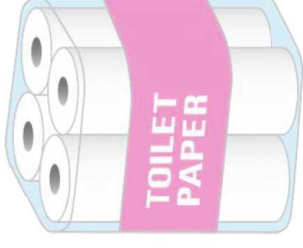
家族と同居している米森さん

子どもたちに遊び場を提供したい。



役場の斉藤さん

トイレットペーパーやティッシュなどの紙類がたくさんある。



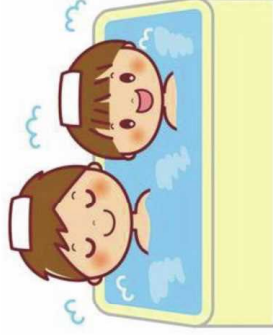
パン屋の鈴木さん

ペットハウスを運営している。



ペットハウスの早川さん

家のお風呂が使える。



4人家族の石田さん

発電機を持っている。



米農家の内藤さん

何か手伝いがしたい。

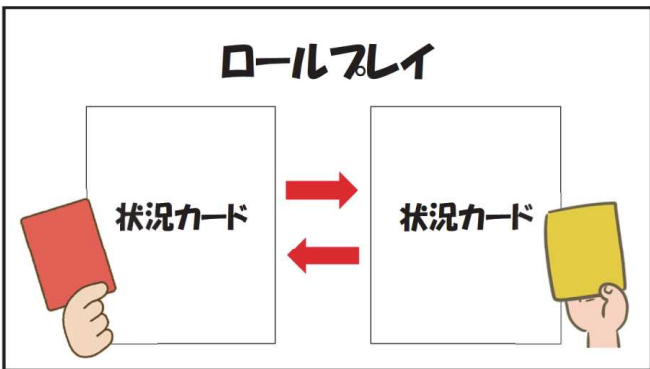


大学生の勝保さん

厚真 × **SDGs**

厚真 = 地震

**「災害につよいまち」
ってどんなまち？**



1. セリフは自分で考えよう
2. カードは相手に見せないように
3. 教室が厚真町内だと想定して…

今の状況で
自分はどうするべき？

どんな状況が
あった？

どんなやりといが
あった？

子どもたちに遊び場を提供したい。



役場の斉藤さん

被災地でのこどもの居場所
ハッピースターランド



(厚真町教育委員会 斉藤さん提供)

平成30年9月7日(金) スポーツセンター避難所



ハッピースターランド

(厚真町教育委員会 斉藤さん提供)

厚真町教育委員会 社会教育グループ 斉藤 烈さん



人とのつながりで
行うことができた。

(厚真町教育委員会 斉藤さん提供)

ペットハウスを経営している。



ペットハウスの早川さん

避難所に連れて行けないペットの受け入れ



Animal total care 早川さん

避難所での支援



(東北大学 定池祐季助教提供)



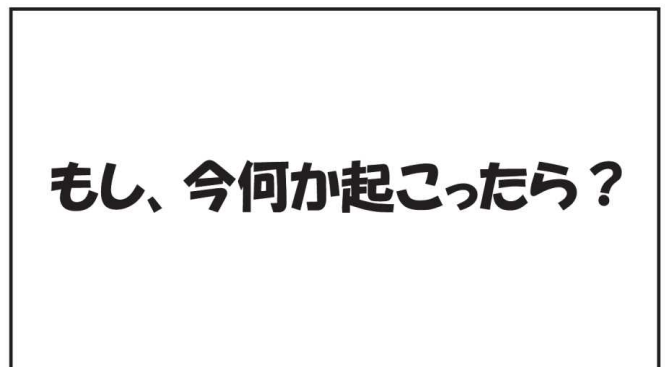
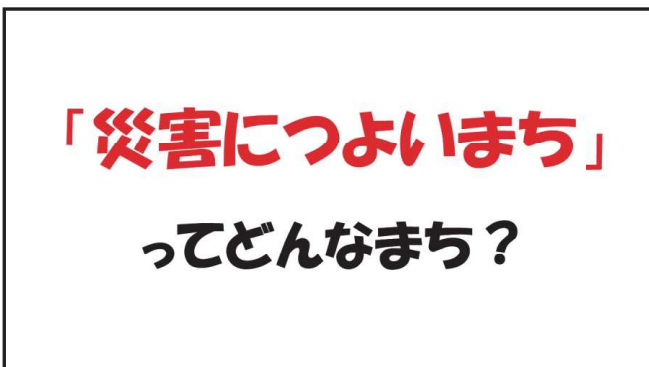
(東北大学 定池祐季助教提供)



(東北大学 定池祐季助教提供)



(東北大学 定池祐季助教提供)



災害につよいまちづくり
に向けて、自分たちに
できることは何だろう？

